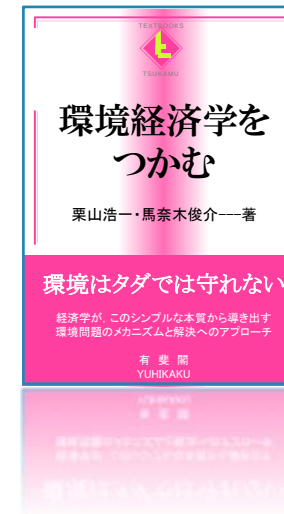


公共財供給実験

担当：李態妍

参考資料



- 『環境経済学をつかむ』
- 栗山浩一・馬奈木俊介
- 有斐閣、2008年

- Unit6：公共財とフリーライダー

- 参考サイト：

『環境経済学をつかむ』経済実験のコーナー
<http://kkuri.eco.coocan.jp/research/EnvEconTextKM/EconExp/>

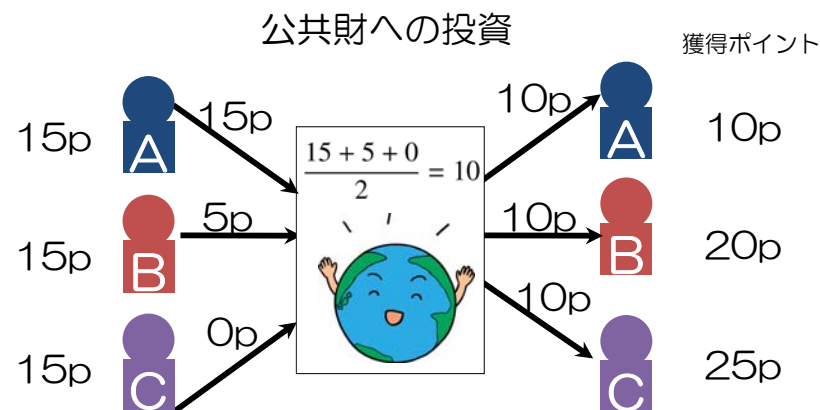
実験の目的

- 個人の最適行動＝全体にとっての最適行動？
- 自分の意思決定における戦略を理解
- 公共財供給におけるフリーライダー：どのように解決する？

実験手順

- 5~6人程度でグループを作る
 - リーダー決定：早く正確な計算が出来る人
- Step1:各プレイヤーに15ポイントずつ渡す
- Step2:公共財のためにどれだけを提供するかを決定
- Step3:集められたポイントの半分を各プレイヤーに配分
- **Step1から3を1セットとして10回まで繰り返す**
 - 1セットが終わってから次を実施
 - 毎回：配当をみて、次回を配分を決定
 - 毎回：15ポイント配布
- **総獲得ポイント数の上位：賞金あり**

提供→配分



あなたの利得表

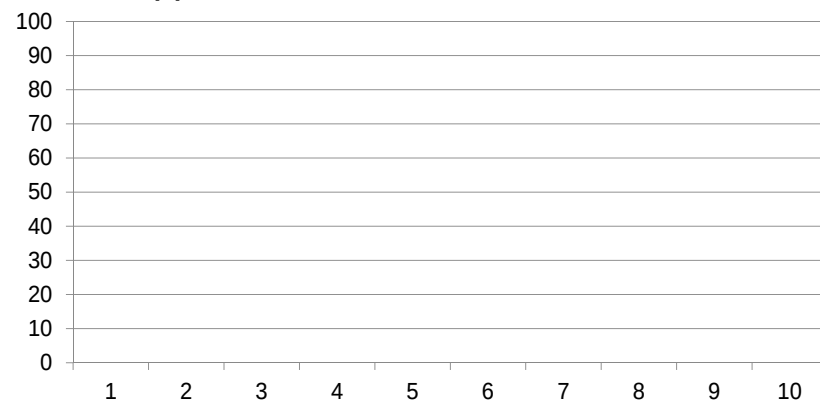
G-a,b,c,d,e,f さん

ポイント	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回
提供	15									
残り	0									
配分	$\frac{15 + 5}{2} = 10$									
獲得	残り+配分 10									

獲得ポイント：1～10回の総合計 _____ ?

実験結果

投資ポイント(%)



(注)投資ポイント率=100×提出ポイント/15ステージ

戦略？

- 常に全部提供
最大の15ポイントを提供
- 常に0提供
毎回、全く提供しない
- 全員の平均値
前回のステージにおける全員の平均値程度
- しっぺ返し
前回のステージで全員が平均して半分以上提供している場合、平均ぐらいを提供。But、半分以下の場合には0を提供
- その他